



連携支援だより

今年度は今までにない異例の幕開けとなりました。

浦舟特別支援学校は、医療機関との連携が欠かせない中、各病院と連絡を取り、できることを模索しながら学校再開への準備を進めております。

さて、第1号は、毎年浦舟特別支援学校についての学校紹介をしております。

また今年度も対応となったお子さんの学校の先生方との連携を深めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



浦舟特別支援学校は横浜市立で唯一の病弱特別支援学校です。

医療との連携のもと、小学1年生から中学3年生までの病氣療養中の子どもたちへの支援を学籍を移して行っています。

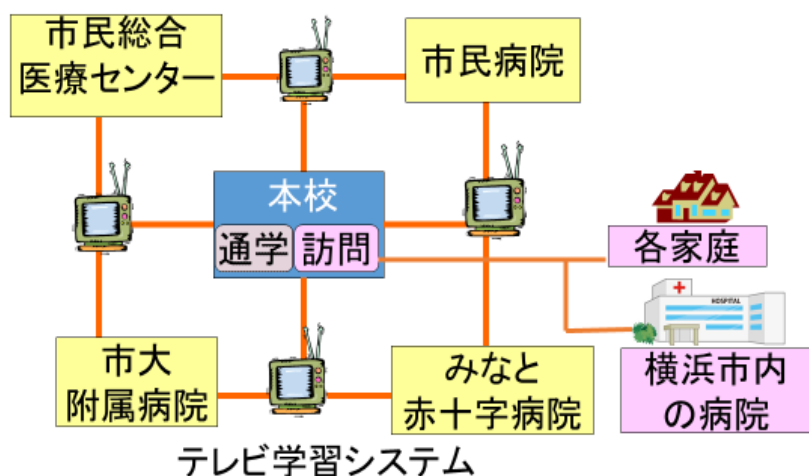
横浜市内にはもう一校、神奈川県立こども医療センターに併置されている神奈川県立横浜南養護学校があります。

浦舟特別支援学校は横浜市立市民病院、横浜市立大学附属市民総合医療センター、横浜市立大学附属病院、横浜市立みなと赤十字病院内に設置された4か所の院内学級と、院内学級が設置されていない横浜市内の病院での訪問指導を行っております。病院に入院し、主治医の判断により転入が必要な場合、本人及び保護者の希望で教育相談を行い、転入手続きの運びとなります。そして、退院とともに転出手続きを行う事となります。

上記の病院の退院後に主治医より自宅療養の指示が出され、浦舟複合福祉施設にある本校への通学または自宅への訪問指導という判断があった場合には、前籍校に復学するまでの期間、本校通学や自宅訪問を行っております。

このように、浦舟特別支援学校は転入・転出手続きは、入院した病院の主治医の判断を基に学校間で確認を行いながら進めております。

浦舟特別支援学校



*退院後にスムーズに前籍校へ復学ができるよう、入院前の学習をできるだけ継続しながら子どもたちの体調に合わせ、授業を行っております。

学習だけでなく、創作活動やゲームなどで気持ちをリフレッシュさせて前向きな気持ちで生活できるような自立活動の時間も大切にしています。

前籍校の学習進度を意識して進めることが子どもたちの安心感につながります。前籍校の担任の先生方とも連携をしながら支援をしたいと思っております。



研修会のご案内

*毎年恒例の、特別支援教育総合センターとの共催で行っている
病弱教育専門研修です。

第1回 「病弱教育と人権」

仮題) 揺らぎを抱える子どもに寄り添う



日時 令和2年6月26日(金) 15:00~16:45

場所 横浜市立浦舟特別支援学校 研修室 (地下鉄阪東橋 徒歩5分)

講師 国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院 緩和医療科
ホスピタルプレイスタッフ 公認心理士 小嶋 リベカ 氏

第2回 「学校と医療の連携」

仮題) 児童生徒の抱える精神的課題について



日時 令和2年10月28日(金) 15:00~16:45

場所 横浜市立浦舟特別支援学校 研修室 (地下鉄阪東橋 徒歩5分)

講師 社会福祉法人 青い鳥 東部地域療育センター所長
元 横浜市立大学附属市民総合医療センター 精神医療センター長
高橋 雄一 氏

*今年度は研修会の開催の有無に関し、新型コロナウイルス感染対策により、中止等の変更もあり得ます。特別支援教育総合センターでの申し込みになりますので、開催の有無に関しては特別支援教育総合センターからのお知らせをご覧ください、ご確認をお願いしたいと思います。

また、本校ホームページでも中止に関するお知らせは、決定次第掲載する予定ですので、そちらでもご確認ください。

教育相談について

病気などが理由で、市内の病院に入院しているお子さん、登校ができていても病気に対する配慮が必要なお子さんについて、教育相談を受け付けています。

学校からだけでなく保護者からの相談も受け付けていますので、是非ご紹介ください。

担当：浦舟特別支援学校 特別支援教育コーディネーター 荻野 Tel 243-2624

*お手数ですが、全職員への回覧をお願いいたします。